

評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

教科	国語	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
視点や作品の構成に着目して読み、印象に残ったことを伝え合おう	5	◎文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク）	・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） ・比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク）	「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。（C(1)イ）	進んで登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことについて考えを伝え合おうとしている。
インタビューをして、自分の考えと比べながら聞こう	6	◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表A(1)エ） ○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。（知・技(1)キ）	・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。（(1)キ）	「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。（A(1)エ）	進んで話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習課題に沿ってインタビューをしようとしている。

評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

主張と事例の関係をとらえ、 自分の考えを伝え合おう	7	◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ)	・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)	進んで事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。
表現を工夫して短歌を作り、 読み合おう	3	◎短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)カ) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○語句の係り方や語順、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・語句の係り方や語順、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)	・「書くこと」において、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけている。(B(1)カ)	学習の見通しをもって短歌を作り、積極的に短歌に対する感想や意見を伝え合おうとしている。
構成を考えて、提案する文章 を書こう	8	◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)	・文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	積極的に文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって提案する文章を書こうとしている。

評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

本は友達	5	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに関与している。((3)オ)	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	進んで読書が自分の考えを広げることに関与することに関与し、これまでの学習をいかしてブックトークをしようとしている。
作品の世界を想像しながら読み、考えたことを伝え合おう	8	◎比喻や反復などの表現の工夫に関与することができる。(知・技(1)ク) ◎物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)	・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・比喻や反復などの表現の工夫に関与している。((1)ク)	「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)	粘り強く物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、学習の見通しをもって作品世界について考えたことを書き、伝え合おうとしている。
目的や条件に応じて話し合おう	6	◎思考に関わる語句の量を増し、話の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ) ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)エ)	・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っている。((1)オ)	・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)	粘り強く考えを広げたりまとめたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。

評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう	10	◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア)	・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。((3)オ)	・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)	粘り強く論の進め方について考えたり、書き表し方を工夫したりし、学習の見通しをもって日本文化のよさを伝える文章を書こうとしている。
物語を読んで考えたことを、伝え合おう	4	◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。((3)オ)	・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)	進んで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。

評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう	6	◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)エ) ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)	・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)	「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ)	進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって推薦したいものをパンフレットにまとめようとしている。
筆者の考えを読み取り、テーマについて考えを述べ合おう	6	◎文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ)	・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	粘り強く文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
言葉について考えよう	3	○語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○文の中での語句の係り方や語順について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)エ)	・語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・文の中での語句の係り方や語順について理解している。((1)カ)	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	進んで日本語の特徴について理解を深め、学習課題に沿って日本語の特徴を紹介する文章を書こうとしている。

評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

書き表し方を工夫して、経験と考えを伝えよう	6	◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ)	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	積極的に自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって大切にしたい言葉に対する思いを書こうとしている。
資料を使って、みりよく的なスピーチをしよう	6	◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ) ◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知・技(1)キ) ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ)	・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ)	・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	積極的に資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもって自分の思いや考えを伝えるスピーチをしようとしている。
登場人物の生き方について、考えたことを話し合おう	6	◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ○比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ)	比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク)	・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	積極的に文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習の見通しをもってそれぞれの人物の生き方に対する考えを話し合おうとしている。

評価規準

学校名:江戸川区立南葛西第三小学校

卒業するみなさんへ	4	○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○詩を朗読することができる。(知・技(1)ケ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ○詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・詩を朗読している。((1)ケ)	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	積極的に6年間の国語学習を振り返り、これまでの学習をいかして、詩を読んで感じたことを伝え合ったり、文章に対する自分の考えをまとめたりしようとしている。
-----------	---	---	---	--	--